

福岡県立大学同窓会会報

発行日 平成13(2001)年7月1日
 発行所 福岡県立大学同窓会 事務局
 住所 福岡県田川市伊田4395
 福岡県立大学同窓会事務局
 TEL・FAX 0947-42-277

同窓会からいただいた宝物、 みなさん ありがとう

同窓会会長 矢津田克子



同窓会の皆様、お健やかに日々お励みのことと思っております。

新世紀を迎えるにあたり、行政はいろいろなビジョンを掲げ、みなさんも期待を持って迎えられたことと思いますが、いまだ政治も経済も嵐の中をさまよっています。

その中で、国の隔離政策の苦痛、苦難の人生からやっと解放され、「やっと人間らしく生きられる」と語っていたハンセン病元患者の方たちの明るいニュースもありますが、あとを絶たない児童虐待のニュースには、ことのほか胸が痛む今日この頃でございます。

さて、今世紀初めての福岡県立大学同窓会が目前になりました。すでに皆様には8月の行事予定の中に出席と準備していただいていることと思っております。20世紀最後の同窓会(1999年8月)は、総会が春日市、懇親会が福岡市と二つに分かれ、JRを利用しての不便な移動となりましたが、皆様の御協力ですmoothに進行し、懇親会もなごやかで楽しいものとなりました。参加者は例年より少なく、同窓会長としては力不足に責任を感じるところですが、私にとりましては忘れられない同窓会となりました。

2年ぶりの同窓会が近づくにつれ、懇親会でA先輩が言われた言葉が優しく暖かく私の心ににじみ出てきます。しかも笑いたくなるような私の失敗談につながり、A先輩からそんなこと書いてとお叱りを受けるかもしれませんが、私はやはりお話しさせていただきます。

懇親会で、三々五々会話が弾んでいるとき、A先輩が私に声をかけてきました。

「私はどうしてもあなたに謝りたいことがあるの」と言うのです。私が何のことかとキョトンとしていると、「若久緑園でのこと、あなたも覚えているでしょう？12月の大掃除の日のこと。人にはどうしてあんなことをしたのだろうと、後悔して止まないことが三つや四つはあるでしょう。そのひとつがあなたを叱ったあの日のことなの。あの時の私の態度は思い出しても恥ず

かしい。ずーと心に残っていてあなたに謝らないと、この後悔は治まらないの。ごめんなさいね。許してね。」私は半分あつけにとられて、半分はA先輩の純粹な言葉に胸を打たれ「そんなこと気にしていません」と言ったものの、あとは言葉になりませんでした。

それは私が緑園に赴任して2ヶ月ほどたった12月の大掃除の日でした。新米保母の私の大掃除の受け持ち場所は食堂になりました。食堂には50~60人の子供たちが食事をするテーブルと、真ん中に大きな石炭ストーブがありました。ストーブの煙突掃除などどうやってするのか不安に感じながら食堂に行くと、子供たちがすでに始めており、テーブルは外に運び出し、ストーブの煙突掃除にとりかかっていた。煙突はバラバラにはずされ床のあちこちにススの山ができていました。

私はこのススをどうやって取り除くか思案に暮れていると、リーダー格の男子が「水を流して土間のあの溝に流し込んだらいいよ」とアドバイスをしてくれました。私の返事を待つまでもなく、元気な4~5人の子供たちがバケツに水を汲んできて四方からススをめがけて勢いよくまきました。その結果、食堂の床は水浸しになり、ススは流れるどころか水に浮いて、床はまっくろくろすけだらけになってしまいました。その時、A先輩が新米の私がどうしているのか様子を見に来たのでしょう。詳しくは覚えていませんが、すごく驚かれた表情と、何かお叱りを受けたことは思い出します。叱られるということは気持ちよいことではありませんが、的確な判断力も指導力もなく、子供たちと一緒にやってしまったのだから叱られても当然と受け止めていました。私はA先輩が叱ったことより、水に浮いて食堂中に散ったまっくろくろすけたちを、土間の10センチくらいの溝穴に追い込むのに必死で、食堂の床がやっときれいになった時の安堵感の方が大きかったような気がします。

その時の情景を、私はアニメ映画の「トトロ」のまっくろくろすけと重ね合わせて、楽しく滑稽な失敗談として思い出にあるのに、A先輩はその時のご自分の態度を驚きのあまり冷静さを失って叱ったことを後悔されていたなんて……。

あれから30余年も経つのにそのことを詫びられるA先輩の純粹さと、人に対する責任感と深い愛情を、この2年間折にふれて思い出し、大きな宝物となって私の胸にふくらんでいます。

私が福岡県立大同窓会に深く関わりを持つようになって10数年、先輩後輩の同窓会の皆さんから、たくさんのご指導、ご協力をいただきました。会長という

役目をお受けして、力不足ながら数々の経験を踏ませていただきました。その1つ1つが新たな青春のような思い出となって私の胸に息吹いています。

私は同窓会を通して本当にたくさんの宝物をいただくことが出来ました。会員の皆様はいかがなものでしょうか。私は同窓会が会員の皆様にとりましても有意義な存在であって欲しいと願っております。

会報は年に1回発行しております。

今年は会員名簿も皆様のお手元にお届けすることが出来ます。

2年に1回、同窓会があります。8月の同窓会総会には是非足をお運びいただき、大学の先生方、同期生、先輩、後輩と積極的に交わることで、きっと明日への飛躍となる宝物を見つけていただける(いただきたい)と確信しています。

懇親会の終わり頃、ひとりの女性が声をかけてきました。ボランティアで中国に行き、万里の長城のまわりに植樹をしてきました、と笑顔が輝いていました。そして、「同窓会のために長いこと会長のお役目をご苦労様です。ありがとうございます。」

ああ、なんと嬉しい言葉でしょう。

私も皆様にお礼申し上げます。

「同窓会の皆様、ご協力ありがとうございます。福岡県立大学同窓会は会員数4,314名となり大きく成長しております。

今後とも、総会への積極的な参加などご協力よろしくお願い申し上げます。」

※矢津田会長には、1990年より同窓会会長をお務めいただきましたが、この度ご勇退の運びとなりました。長き間、同窓会にご尽力いただきましたことを会員一同深く感謝し、ここにお知らせいたします。

それぞれの人生を いのち輝く日々に

福岡県立大学長 保田井 進



二人の間にお茶とお菓子があれば、親密な時を過ごすことができるでしょう。お茶とお菓子は関係をつくる媒介といいます。親と子どもの中に、もし一つのボールがあり、折り紙や玩具や絵本があれば、それを媒介に、親子の活動が始まり、経験を共有し、共に成長し、信頼関係も生まれます。

音を出す玩具、色のある玩具、回転や直線運動を繰り返す玩具、子どもの動作に反応する玩具、体感や平衡感覚を刺激する玩具を媒介にして親子が時間を共に過ご

すことで、豊かになり、さまざまな感覚を経験し、それが知覚や感性を豊かにする体験になるでしょう。バランスをとりながら、右手と左手がうまく協同する動作から、運動能力は発達し、違いを区別する、同じ種類のものをそろえる、順序正しく並べる。こうして、知覚を刺激することから、知性が豊かになり、数の概念、時間、空間の概念、系統分類する知識が伸びてくるでしょう。物語を読み、お話を聞いても状況を想像することができ、抽象的思考も発展します。

大学の生涯福祉研究センターに「おもちゃ・としょかん・たがわ」が開館しました。教職員、同窓生、学生ボランティアが活躍しています。

最近の社会福祉従事者に「一番大切な役割はなに？」という質問に、利用者(当事者)と保健福祉サービスとの「仲立ち」-「媒介」という答えが多いということです。「措置」から「契約」へという福祉改革の流れの中で、サービス提供者とサービスによる利用者との「媒介」という役割が期待されるようになりました。

さて、自分を省みて、家庭、職場、近隣の人間関係、国際関係のために、よき媒介として機能を果たしているか考えさせられています。

短大時代の美術担当の旧師嵯峨山善信先生の遺作展が、先生を懐かしむ社会保育短大とその前任校の卒業生たちの努力によって、5月2日から6日まで北九州市立美術館で行われました。先生は1967年から1977年まで社会保育短大の教授を務め、短大校章のデザインを創作されています。1995年5月、85歳で亡くなりました。ご自分の作品をあまり公開されなかったようで実行委員の方々は作品を集めるのにご苦労をされたようです。県立大学にあった油彩「嵯峨の竹藪」も一部痛んでいた部分が補修されて出品され、先頃、大学に返還されました。先生の作品は宗教的なモチーフを抑制された色調で描かれたものが多く、精神性を感じさせるもので、会場でも作品の前にしばし立ち止る人を見かけました。

「嵯峨の竹藪」は同じテーマの2点の内の一つで、「平家物語」に白拍子祇王の話があります。権勢を誇る平清盛の寵愛を受けた祇王が、他の女性に移り気した清盛に疎まれることになり、世の無常を感じて尼僧になって庵を結んで暮らしたという、当時の寂しい嵯峨野の風情も偲べれます。この絵はいま学長室にかけてあります。同時期に、小倉北区内で、お元気な本学名誉教授武内先生の個展も開かれました。

県立大学の第2期卒業、県大大学院在学中のI君が昨年10月に急逝されました、葬儀に駆け付けた同窓生、先生方が、おだやかな顔で柩に納められているI君と最後のお別れをしました。

人の生命は、前なるものが後になり、後なるものが先になる、予想できないものですが、死が確実である私たちは、よりよく死ぬために現在の生命を大切に、よりよく生きていかねばならないと感じたことでした。

同窓会名簿発行について

同窓会名簿発行は2001年3月の予定でありましたが、事務作業の滞りで大幅に遅れております。名簿代金をお振り込みいただき、発送を心待ちにいただいている会員の方々には、大変ご迷惑をおかけしております。

同窓会では、H11年度幹事会にて、選出された名簿作成委員6名を中心に名簿についての企画案を作成し、送付・確認等の事務作業を事務局で行ってきました。

平成11年12月には、第1回調査カードを会員の皆様宛に送付いたしました。翌年10月に第2回調査カードの送付を行いました。教職員の方々の名簿も整理して参りました。会員の皆様にはお忙しい中、返信頂きありがとうございます。また、同窓会事務局で確認できていない方々の住所もお知らせ頂きました。ご協力ありがとうございます。

第2回調査カードを最終確認として、名簿を作成する予定でありましたが、返信をいただいた結果、名簿に住所等の個人情報を記載することを承認していただく返信はがきを返信されなかった方が2000名にのぼりました。事務局で、おひとりおひとりに連絡を取って確認していくことが、困難な状況となりました。そこで、ご返信いただけなかった方又は記載の承認欄が空欄だった方に対して、第3回の調査カードを送付することになりました。第3回調査カード送付につきましては、返信いただかなかった方には、承認しない意志を明確にされたなかったものと考え、名簿記載をさせていただきますこととしました。

第3回調査カードの返信を元に只今名簿を作成しています。早急に発行・発送に努力いたしますので、今しばらくお待ち下さい。

なお、同窓会名簿には同窓生の方々・教職員の方々から多くの原稿をお寄せいただいております。投稿の部として、掲載の予定です。

今から、名簿購入を希望される方は同封の年会費振込用紙を使って、名簿代金2500円をお振り込み下さい。

昨年度寄付金について

昨年度年会費徴収・名簿代金振込のうちに同窓生6名の方から、27,500円をご寄付いただきました。

頂いた寄付金は同窓会活動のため有意義に活用させていただきます。

同窓会会員追悼

このコーナーでは同窓会事務局に1年間の間にお知らせいただきました会員の訃報と追悼文を掲載いたします。

岩佐 博之(県立大2回生・県立大大学院3回生)

岩佐 博之様は、1993年県立大学入学、学生時代は闊達な性格で、友達から頼りにされ、慕われていたと聞いています。卒業後は在宅介護支援センターに勤務し、同窓会会報第8号にも、職場の紹介を投稿いただきました。勤務の傍ら、1999年には、県立大学大学院で人間社会学研究科福祉社会専攻に在籍され、社会福祉の学究を深めていらっしゃいましたが、大学院在籍中の平成12年10月に永眠されました。ここにご冥福をお祈りいたします。

熊本 康正(社会保育短期大学1回生)

熊本康正様は、社保短1回生として、在学中は田川の地に現在の学生生活の基礎を築くため、学生の核となりご活躍いただきました。創生期の学生の結束は強く、学生時代から現在に至るまで変わることなく結ばれ、折りにつけ集まっておられたそうです。また、平田順治先生(現九州産業大学教授)、清田勝彦先生(現県立大学教授)をはじめ多くの先生方とは、卒業後も親交を長く温められたと聞いております。

社保短卒業後は、厚生事務官として、九州各地の国立病院を歴任されました。激務の中、社保短から県大へ4年生移行の際には、移行祭実行委員として、ご尽力いただきました。平成12年12月残念なことに永眠されました。ここにご冥福をお祈りいたします。

梶原 三枝子(社会保育短期大学2回生)

梶原三枝子様は久留米市図書館に勤務なさっていましたが、闘病の末、平成12年11月永眠されました。ここにご冥福をお祈りいたします。

<お願い>

同窓会会報は会員の一年間の動向をお知らせする役割も担っています。会員の訃報を事務局までにお知らせ下さい。

また会報に追悼文をお寄せ下さい。

同窓会総会で次のことについて審議いたします。

同窓会99・2000年度事業報告(案)

- 1 会報の発行
第7号(1999年)・第8号(2000年)を定期発行。
卒業・入学時に臨時号を発行。
- 2 会員名簿作成・発行
会員の連絡先・氏名等変更の際、随時会員の通知により名簿整理を実施する。
住所不明者のリストを作成、会報発送時に同封し、会員の住所判明に努力する。
卒業生については、新住所報告を依頼し、通知により名簿を作成する。
2001年同窓会名簿発行にむけ、名簿作成委員会を組織し、名簿の企画・作成にあたる。
- 3 同窓会総会の開催(福岡地域)
- 4 大学の発展に関する協力
大学主催の事業等に協力する。
- 5 学生の就職活動への援助
卒業生へ就職情報提供を呼びかける。
- 6 同窓会運営の充実
 - ①運営に関する諸規程の整備
常任幹事会にて、諸規程の審議・整備を行う。
 - ②会費納入の要請・徴収
会報発送の際、年会費の振込用紙を同封するとともに、会費納入の要請をする。
- 7 同窓会活動の調査・研究

同窓会年会費納入状況

99/2000年度納入率	養成所	短大	県大	大学院	全体
	43%	25%	15%	31%	26%

2001年3月末

<活動状況>

1999年

- 4/7 大学入学式入学生に祝電・花スタンド贈る
入学生に向けて同窓会会報臨時号発行
入学式にて同窓会入会金徴収

- 4/17 クローバープラザ・ステーションプラザ総会
下見・打ち合わせ
5/16 第7回会報編集委員会開催
6/13 同窓会三役会・第3回常任幹事会・幹事会開催
7/1 同窓会会報第7号発行
同窓会総会案内・総会出欠返信はがき・会費納入願い・振込用紙・各期連絡文書を同封送付

99/2000年度会費徴収開始

- 8/8 同窓会総会開催
(春日市：クローバープラザ)
同窓会総会懇親会
(福岡市：ステーションプラザ)
97/98年度事業報告・決算報告・監査報告
1999/2000年度事業計画案・予算案審議
11/14 第1回同窓会名簿作成委員会開催
12/28 会員へ向けて第1回名簿調査カードを送付
12/28 40代～60代女性会員無作為抽出400名へ向けてアンケートを送付
(本学上田毅講師の調査研究への協力)
3/18 大学卒業証書・学位授与式に祝電・花スタンドを贈る
卒業生へ向けて同窓会会報発行

2000年

- 4/7 大学入学式入学生に祝電・花スタンド贈る
入学生に向けて同窓会会報発行
入学式にて同窓会入会金徴収
同窓会会報編集作業
7/2 同窓会三役会開催
幹事会・第4回常任幹事会合同開催
7/15 同窓会会報第8号発行
会費未納者へ向けて今年度会費納入願い送付

- 10/22 第2回同窓会名簿作成委員会開催
11/26 会員へ向けて第2回名簿調査カードを送付

2001年

- 3/16 大学卒業証書・学位授与式に祝電・花スタンドを贈る
卒業生へ向けて同窓会会報発行

決算報告(1999-2000年度)

○一般会計

1999年度決算						
大項目	中項目	予算	決算	増減	内訳	
収入	1繰越金	(1)繰越金	2,778,883	2,778,883	0	98年度繰越金
	2経常収入	(1)入会金収入	1,620,000	1,780,000	160,000	入会金
		(2)年会費収入	2,100,000	2,166,000	66,000	年会費
	3臨時収入	(1)売上金収入	0	0	0	
		(2)寄付金収入	50,000	95,150	45,150	
		(3)諸収入	500,000	355,000	△ 145,000	総会参加費
		(4)雑収入	0	29,456	29,456	
		収入合計	7,048,883	7,204,489	155,606	
支出	1事務局費		1,310,960	1,213,863	△ 97,097	
		(1)会議費	90,000	51,123	△ 38,877	三役会・常任幹事会・幹事会
		(2)旅費	144,000	86,990	△ 57,010	三役会・常任幹事会・幹事会
		(3)印刷消耗費	80,340	51,742	△ 28,598	コピーカード・インク・用紙・文具
		(4)備品費	30,000	58,800	28,800	
		(5)人件費	810,000	894,130	84,130	賃金
		(6)通信費	72,620	30,808	△ 41,812	郵便代・電話代
		(7)渉外費	74,000	31,870	△ 42,130	卒業式・入学式花代・祝電・弔電・その他
		(8)雑費	10,000	8,400	△ 1,600	貸金庫
	2事業費		1,919,750	1,363,216	△ 556,534	
		(1)会議費	744,000	446,204	△ 297,796	編集委員会・総会打合せ・同窓会総会
		(2)旅費	48,000	55,290	7,290	編集委員会・総会打合せ
		(3)印刷消耗費	281,250	334,935	53,685	会報印刷・タックシール・用紙・封筒等印刷
		(4)通信費	375,000	367,766	△ 7,234	会報送付・総会返信郵便代
		(5)人件費	121,500	157,446	35,946	会報送付・総会
		(6)寄付金	300,000	0	△ 300,000	大学への協力
		(7)謝金	50,000	1,575	△ 48,425	総会講演会講師謝金
	3予備費		620,000	1,201,500	581,500	
		(1)特別会計繰出金	500,000	500,000	0	
		(2)予備費	120,000	701,500	581,500	
	4繰越金	(1)繰越金	3,198,173	3,425,910	227,737	
		支出合計	7,048,883	7,204,489	155,606	

2000年度決算						
大項目	中項目	予算	決算	増減	内訳	
収入	1繰越金	(1)繰越金	3,198,173	3,425,910	227,737	99年度繰越金
	2経常収入	(1)入会金収入	1,620,000	1,810,000	190,000	入会金
		(2)年会費収入	300,000	417,000	117,000	年会費
	3臨時収入	(1)売上金収入	0	885,000	885,000	名簿売上金
		(2)寄付金収入	50,000	105,237	55,237	
		(3)諸収入	0	85,000	85,000	
		(4)雑収入	0	439,371	439,371	
		収入合計	5,168,173	7,167,518	1,999,345	
支出	1事務局費		1,148,960	1,167,635	18,675	
		(1)会議費	90,000	32,500	△ 57,500	三役会・常任幹事会・幹事会
		(2)旅費	144,000	70,800	△ 73,200	三役会・常任幹事会
		(3)印刷消耗費	80,340	65,883	△ 14,457	コピーカード・インク・用紙・文具
		(4)備品費	30,000	11,340	△ 18,660	
		(5)人件費	648,000	867,460	219,460	賃金
		(6)通信費	72,620	71,373	△ 1,247	郵便代・電話代
		(7)渉外費	74,000	40,509	△ 33,491	卒業式・入学式花代・祝電・弔電・その他
		(8)雑費	10,000	7,770	△ 2,230	貸金庫
	2事業費		993,500	476,110	△ 517,390	
		(1)会議費	14,000	0	△ 14,000	編集委員会
		(2)旅費	18,000	0	△ 18,000	編集委員会
		(3)印刷消耗費	158,750	145,645	△ 13,105	会報印刷・タックシール・用紙
		(4)通信費	315,000	240,315	△ 74,685	会報送付
		(5)人件費	87,750	90,150	2,400	会報送付作業
		(6)寄付金	300,000	0	△ 300,000	大学への協力金
		(7)謝金	100,000	0	△ 100,000	
	3予備費		620,000	1,700,000	1,080,000	
		(1)特別会計繰出金	500,000	500,000	0	
		(2)予備費	120,000	1,200,000	1,080,000	
	4繰越金	(1)繰越金	2,405,713	3,823,773	1,418,060	
		支出合計	5,168,173	7,167,518	1,999,345	

○特別会計

1999年度2000年度決算					
項目	予算	決算	増減	内訳	
収入	繰越金	18,634,936	18,634,936	0	
	利息	60,000	455,333	395,333	99年分(16,984) 2000年分(438,349)
	繰入金	1,000,000	1,000,000	0	一般会計より
	合計	19,694,936	20,090,269	395,333	
支出	繰出金	60,000	455,333	395,333	利息分を一般会計へ
	繰越金	19,634,936	19,634,936	0	
	合計	19,694,936	20,090,269	395,333	

監査結果

福岡県立大学同窓会会則17条の規定により、同窓会会長から提出のあった、会計簿、預金証書及び証拠書類の各事項について監査しました。その内容が適正であることを認めます。

2001年6月17日

福岡県立大学同窓会 監査 月脚 雅子



橋本 瑞江



同窓会2001・2002年度事業計画(案)

- 1 会報の発行
第9号(2001年)・第10号(2002年)を定期発行。
卒業・入学時に臨時号を発行。
- 2 会員名簿の発行・送付・整理
会員名簿の発行・送付を行う。
会員の連絡先・氏名等変更の際、随時会員の通知により名簿整理を実施する。
- 3 同窓会総会の開催(北九州地域)
- 4 大学の発展に関する協力
大学主催の事業等に協力する。
- 5 学生の就職活動への援助
卒業生へ就職情報提供を呼びかける。
- 6 同窓会運営の充実
 - ①運営に関する諸規程の整備
常任幹事会にて、諸規程の審議・整備を行う。
 - ②会費納入の要請・徴収
会報発送の際、年会費の振込用紙を同封するとともに、会費納入の要請をする。
- 7 同窓会活動の調査・研究

<活動予定>

2001年

- 4/7 大学入学式入学生に祝電・花スタンド贈呈
入学生に向けて同窓会会報臨時号発行
入学式にて同窓会入会金徴収
- 5/中旬 第7回会報編集委員会開催
- 6/中旬 三役会議開催・幹事会開催
第8回会報編集委員会開催
- 7/月上旬 同窓会会報第9号発行・郵送
- 7/月上旬 2001年度・2002年度会費徴収開始
- 7/中旬 同窓会名簿発行・発送
- 8/19 同窓会総会・懇親会開催
(北九州市：北九州ロイヤルホテル)
99/2000年度事業報告・決算報告・監査報告
2001/2002年度事業計画案・予算案審議
- 11/下旬 第9回会報編集委員会開催
- 12/月上旬 他大学同窓会へのアンケート送付

2002年

- 2/中旬 第5回常任幹事会開催
- 3/中旬 福岡県立大学卒業式に際し、祝電・花スタンド贈呈
卒業生に向けて同窓会会報臨時号発行
- 4/月上旬 福岡県立大学入学式に際し、祝電・花スタンド贈呈
入学生に向けて同窓会会報臨時号発行
入学式に同窓会入会金徴収
- 5/中旬 第10回会報編集委員会開催
- 6/中旬 三役会議開催
第6回常任幹事会開催
会報第10号発行承認
- 6/下旬 同窓会会報第10号発行・郵送
- 11/下旬 第11回会報編集委員会開催

2003年

- 2/中旬 三役会議開催
第7回常任幹事会開催
- 3/中旬 福岡県立大学卒業証書・学位記授与式
祝電送信・花スタンド贈呈
卒業生に向けて同窓会会報臨時号発行
- ※4/月上旬 福岡県立大学看護学部開学

○同窓会事務局へのお問い合わせ

同窓会専用のFAX電話を設置しています。同窓会事務局へのお問い合わせは下記の電話番号までお願いいたします。

現在、事務局作業日(毎週金曜日10:00~17:00)には電話によるお問い合わせを受けておりますが、金曜日以外は留守録設定となっております。お名前・卒業期・お電話番号を留守録メッセージに残していただければ、こちらからご連絡させていただきます。FAXの場合はいつでもご送信下さい。



予 算 案(2001-2002年度)

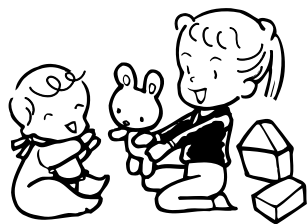
○一般会計

2001年度予算案					
	大項目	中項目	予算額	内訳	
収入	1繰越金	(1)繰越金	3,823,773	2000年度繰越金	
	2経常収入	(1)入会金収入	1,620,000	入会金	
		(2)年会費収入	2,100,000	年会費	
	3臨時収入	(1)売上金収入	0		
		(2)寄付金収入	50,000		
		(3)諸収入	500,000	総会参加費	
		(4)雑収入	0		
		収入合計	8,093,773		
	支出	1事務局費		1,623,730	
			(1)会議費	90,000	三役会・常任幹事会・幹事会
		(2)旅費	144,000	三役会・常任幹事会・幹事会	
		(3)印刷消耗費	80,340	コピーカード・インク・用紙・文具	
		(4)備品費	250,000	ノートパソコン	
		(5)人件費	892,320	賃金	
		(6)通信費	83,070	郵便代・電話代	
		(7)渉外費	74,000	卒業式・入学式花代・祝電・弔電・その他	
		(8)雑費	10,000	貸金庫	
2事業費			1,985,870		
		(1)会議費	737,000	編集委員会・総会打合せ・同窓会総会	
		(2)旅費	39,000	編集委員会・総会打合せ	
		(3)印刷消耗費	287,250	会報印刷・タックシール・用紙・封筒等印刷	
		(4)通信費	407,000	会報送付・総会返信郵便代	
		(5)人件費	165,620	会報送付作業	
		(6)寄付金	300,000	大学への協力	
		(7)謝金	50,000	総会講演会講師謝金	
3予備費			620,000		
		(1)特別会計繰出金	500,000		
		(2)予備費	120,000		
4繰越金		(1)繰越金	3,864,173		
		支出合計	8,093,773		

2002年度予算(案)					
	大項目	中項目	予算額	内訳	
収入	1繰越金	(1)繰越金	3,864,173	2001年度繰越金	
	2経常収入	(1)入会金収入	1,620,000	入会金	
		(2)年会費収入	300,000	年会費	
	3臨時収入	(1)売上金収入	0	名簿売上金	
		(2)寄付金収入	50,000		
		(3)諸収入	0		
		(4)雑収入	0		
		収入合計	5,834,173		
	支出	1事務局費		1,179,610	
			(1)会議費	40,000	三役会・常任幹事会・幹事会
		(2)旅費	64,000	三役会・常任幹事会	
		(3)印刷消耗費	80,340	コピーカード・インク・用紙・文具	
		(4)備品費	30,000		
		(5)人件費	811,200	賃金	
		(6)通信費	70,070	郵便代・電話代	
		(7)渉外費	74,000	卒業式・入学式花代・祝電・弔電・その他	
		(8)雑費	10,000	貸金庫	
2事業費			972,630		
		(1)会議費	7,000	編集委員会	
		(2)旅費	9,000	編集委員会	
		(3)印刷消耗費	158,750	会報印刷・タックシール・用紙	
		(4)通信費	360,000	会報送付	
		(5)人件費	87,880	会報送付作業	
		(6)寄付金	300,000	大学への協力金	
		(7)謝金	50,000		
3予備費			620,000		
		(1)特別会計繰出金	500,000		
		(2)予備費	120,000		
4繰越金		(1)繰越金	3,061,933		
		支出合計	5,834,173		

○特別会計

2001年度2002年度予算案		
項目	予算額	内訳
収入		
繰越金	19,634,936	
利息	60,000	
繰入金	1,000,000	一般会計より
合計	20,694,936	
支出		
繰出金	60,000	利息分を一般会計へ
繰越金	20,634,936	
合計	20,694,936	



○生涯福祉研究センター

「おもちゃとしょかん・たがわ開館」

—昨年1999年の秋から準備を進めてきました、生涯福祉研究センター事業「おもちゃとしょかん・たがわ」の、開館セレモニーが5月19日土曜日に開催され、110名近い参加者がありました。

当日は、保田井進学長に「おもちゃを通して発達を支援するおもちゃとしょかんの役割」という演題で、記念講演をしていただきました。「おもちゃは子どもと子どもに接する人とのコミュニケーションの媒介である」「発達状況にあった機能訓練のツールとなる」等のお話を聞き、その後セレモニー参加者と折り紙を使ってのおもちゃ作りを楽しみました。

また、当日は「ヤンチャリカ」という歌のグループのアトラクションもあり、子どもも大人も楽しいひとときを過ごしてもらいました、そしてこれからの「おもちゃとしょかん・たがわ」をますます発展させていこうと強く感じたひとときでした。

現在のおもちゃ数はおよそ170点以上になり、また絵本は福岡県立大学附属幼稚園時代のものを活用しています。

「おもちゃとしょかん・たがわ」は、大学内のおもちゃとしょかんという特徴を生かし、本学学生を中心としたボランティアスタッフの活躍が今後期待されています。

【センターからのお礼】

同窓会会報8号で、呼びかけましたところ、同窓会会員の方々よりフェルト・刺繍糸などお送りいただきました。ありがとうございました。有意義に使わせていただきます。

引き続き、フェルト・刺繍糸などご家庭で眠っているものがございましたら、よろしくお願ひいたします。



「筑豊市民大学開講する」

筑豊市民大学は、県立大学市民公開講座実行委員の方々により開講されることになりました。委員の方々には長年、公開講座の支援をしており、その中から、今回の企画は生まれました。

組織からではなく、個人からはじめる形をとり、また講演形式だけの市民大学と違い、ゼミ方式を試みようとしています。なお、窓口は生涯福祉研究センターとなっています。

講座方式は毎月第4土曜日の午後2時より、ゼミ方式は毎月第3火曜日の夜7時から福岡県立大学で行うようになっています。

ゼミ方式は3つの柱があり、「あ・そ・び～創造・友情そして学校～」（教育）、「ボランティア・共生の社会～介護の今、あした～」（福祉）、「地球・今でも青いのか～私の生活見直し論～」（環境）となっています。もちろんテーマは来年以降かわることもあります。こうした市民による学びの森が筑豊に広がり、深まることによって、21世紀が希望あるものになるのではないのでしょうか。

なお、途中入学も受け付けています。下記にお問い合わせください。

問い合わせ先

TEL 090-8665-3689 (久富)

090-3463-9704 (秋吉)

0947-44-4181(乙成)

FAX 0947-44-4181

筑豊市民大学運営委員会 宛

I 講座方式

6月から毎月第4土曜日 14:00～

聴く・アラカルト-学びの泉を求めて-
「夢をいだき」「心に学び」・・・
「発揮する私」

場所 福岡県立大学・その他

開校日 5月26日(土) 14:00～

II ゼミ方式

6月から毎月第3火曜日 19:00～

ア、教育

あ・そ・び

～創造・友情そして学校～

イ、福祉

ボランティア・共生の社会

～介護の今・あした～

ウ、環境

地球・今でも青いのか

～私の生活見直し論～

○地域開放講座・公開講座について

福岡県立大学では、広く地域に開かれた大学として、地域住民の生涯学習に資することを目的に、「生涯学習」、「地域振興」等をテーマの中心に据え、

種々の公開講座を企画、実施しています。大学における”情報発信の場”の一つとしての公開講座は、地域住民に学習の機会を提供するだけでなく、大学をよく知ってもらい、また交流の輪が広がるよい機会でもあります。是非、ご参加ください。

平成13年度 福岡県立大学公開講座 I

日時：平成13年6月9日（土）～8月25日（土）
14：00～

場所：中間市中央公民館

テーマ【これからの家族、これからの福祉
～揺れ動く社会福祉の展望～】

講義主題及び講師

6月9日（土） 「アメリカにおける一人親政策」
福岡県立大学 講 師 稲葉美由紀
6月23日（土） 「児童虐待とそのケア」
福岡県立大学 教 授 細井 勇
7月14日（土） 「ジェンダーとその家族」
福岡県立大学 助教授 中藤 洋子
7月28日（土） 「メンタルヘルスと家族」
福岡県立大学 教 授 奥村 幸夫
8月11日（土） 「高齢者と家族」
福岡県立大学 教 授 宮崎 昭夫
8月25日（土） 「現代家族のライフサイクル」
福岡県立大学 講 師 西原 尚之

※講義時間：14時～16時。但し、開・閉講式の日は20分延長。

※詳細についてのお問い合わせは県立大学：教務課まで（TEL0947-42-2118）

※公開講座等の情報は県立大学ホームページでもご紹介しています。<http://www.fukuoka-pu.ac.jp/>

大学教員動向

平成12年度からの先生方の簡単な動向についてお知らせいたします。

<退職・転学された先生>※かっこ内は在職期間です。

杉田 峰康 教授（H4.4.1～H12.3.31県大）

<新しく着任された先生>※かっこ内は着任日です。

岩橋 宗哉 助教授（H13.4.1）

村島 さい子 教授（H13.4.1）看護学部設置準備室

岡本 雅享 講師（H12.10.1）

興津 真理子 助手（H12.9.1）

訃報となりますが、昭和30年7月4日から昭和34年8月30日まで福岡県立保母養成所所長を勤められた、原田文枝様が2000年12月17日死去されました。ご冥福をお祈りいたします。

嵯峨山善信先生

SAGAYAMA, Yosinobu

遺作展

●主催 嵯峨山善信先生遺作展実行委員会 ●後援 八幡高校同窓会 誠護会

2001年5月2日(水)～5月6日(日)

北九州市立美術館 市民ギャラリー（アネックス1F）

○嵯峨山善信先生遺作展開催報告

短大1期生 早川 とも子（旧姓 古殿）

昭和42年より十年間、短大で教鞭を取っておられた嵯峨山先生が亡くなられて、七年が経ちました。「先生の絵を見たい」という教え子の多くの声に、七回忌に遺作展を開催することになりました。

先生が教鞭を取られた八幡市立高女、八幡高校、福岡県社会保育短期大学の教え子達、退官された後、指導にあたってこられた仏教美術の会の面々の先生に対する想いが「開催」にむけて、心を一つにし、準備に1年を費やしてきました。全国から四百名を超える方々から先生の思い出、励ましの言葉、ご寄付をいただき、先生の偉大さをまた、改めて感じたところでした。

5月2日より6日までのゴールデンウィークの真っ只中、北九州市立美術館で開催し、新聞、テレビに連日取り上げていただき、三千名もの観客の方々に観ていただくことができました。

絵の前で動けなくなった卒業生、涙を流して見ておられる方、日展で大賞をとられた「得度の朝」には清々しさを久しぶりに感じました、と感想を述べられる方、大学に寄贈されていた「嵯峨の竹藪」の前では年齢を召された婦人が「心癒されます」と。遺影を胸に抱かれて、会場をまわられる中年の男性の姿、毎日足を運ばれた方。久しぶりに本格的な絵に会いましたといわれる方。会場に流れている先生の声や、先生の爪弾くギターの音色に昔を懐かしみ、学生時代にかえられた方、絵だけでなく、音楽に、文学に、多岐に優れていた先生の偉大さを改めて感じたものです。

いろんな感動がありました。

「時が経っても、師と生徒の信頼関係が持続すること。これが教育の原点である。」と、亡くなられた現在も教えられた思いがしています。

教え子だけで作り上げた「嵯峨山先生遺作展」で多くのことを学ばせていただきました。ご賛同いただき、ご協力いただきました、同窓生の皆様、同窓会に深く感謝いたします。

県大生の就職状況

平成12年度卒業生の就職状況は、4月9日現在、就職希望者125名のうち、就職者100名、(就職率80%)で、前年同期に比べると4.6ポイント減少している。

就職先としては民間企業・病院・社会福祉施設・公務員・その他となっている。(県立大学学生課調べ)

平成12年度卒業生就職状況一覧表

	卒業生	民間企業	病院	社会福祉施設	公務員	大学院	その他	専門学校等
社会学科	53	37	0	0	1	0	1	3
社会福祉学科	55	3	12	17	1	1	2	3
人間形成学科	58	8	0	6	12	3	0	4
計	166	48	12	23	14	4	3	10

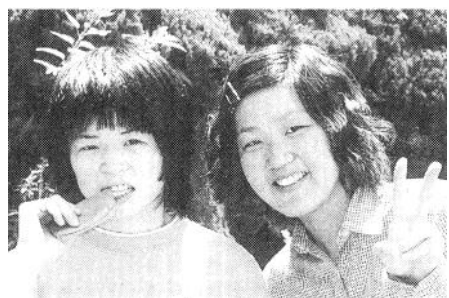
在学生・卒業生への求人情報提供につきましては、同窓会活動として取り組んでいます。職場や関係機関での求人情報がありましたら、県大学生課まで、是非ご連絡ください。

TEL 0947-42-2118 (福岡県立大学 学生課)

サークル紹介

○ボランティアサークルつくしんぼ

私たちボランティアサークルつくしんぼは、現在、1年生11名、2年生12名、4年生4名で活動しています。「つくしんぼ」は、元々障害を持った子供の親たちが約20年前に創ったサークルで、私たちは月1回の割合で子供たちとレクレーションなどをして楽しんでいます。また、この月1回行う例会を成功させるために週1回集まって、



みんなで計画を立てます。

さらに、定期的に行われる地域の福祉行事にもボランティアとして参加しています。5月には電車を借り

切って、遠方への日帰り旅行を楽しむフレンドシップツアー。6月には、各地域の老人会や作業所などが参加するあすなろ運動会。7月の末には、2泊3日を共に過ごすつくしんぼキャンプがあります。この他多くのイベントへの参加を通して、障害を持った人だけでなく、地域の方々とも交流が深められ、とても充実した活動ができていると思います。今後も全員で協力して、たくさんの人に喜んでもらえるサークルにしていきたいです。

○ジャズ研

私たちジャズ研は2000年の4月から本格的に活動し始め、現在部員は1年生3名、2年生4名、3年生4名の計11名が活動しています。

活動は、毎月一回のペースでライブをしているので、皆授業の空き時間に個人練習をし、毎週水曜日に通称ジャズ室に皆で集まって、合わせたりしています。ライブ活動は、4月に新入生歓迎会、夏にミニライブ、11月に学祭、12月にクリスマスライブの学内活動のほかに、近くにあるジャズバー(ブルーノート、ダイヤモンドムーン)で定期的に演奏させて頂き、その他に赤村成人式や、月の輪園という老人ホームでライブをしてきました。

ジャズ研は大学に入ってからジャズを知り、楽器を始めた人が多いです。ジャズという音楽は、探求すればするほど奥が深く、高度な技術が求められるので、ジャズを研求していくというよりは、皆で楽しく音楽を演奏していきましょうといった感じですが、それぞれのレベルや、やりたいことを合わせつつ、先輩・後輩の枠をはずして、切磋琢磨しあい、何ヶ月も同じ曲を弾きこむことで、技術を向上させていっています。これからも、音楽を通して、地域社会と交流しあえる広がりのある部活にしていきたいと思っています。



同窓生の声

<仲良し五人組>

養成所1期生 森田 アサエ

神奈川県では、昭和四十年に保母賞が制定され、毎年十二月、保母賞の贈呈式があり現在、受賞者は二百五十人余りになりました。自主的な組織として、ゆりの会が出来、研究会や、見学会などして相互の親睦を計っています。定年退職後は役員を受け、月一回の集りに出席して年間の行事や、会報の作成などして、会の運営に参加しています。

保育一筋、四十数年、公私共々多くの方々に支えられ今日まで、退職後はボランティア活動をしたいと考えていました時に、一昨年区役所の呼びかけで、心に病を持っている人からの電話を受けることにつき勉強会がありました。かたらい電話と云うことで月一回、ボランティアを始めましたが、聞くことの難しさを痛感しています。ボランティアと勉強会を通して、作業所の見学、ひきこもりの実態、親御さんの思いなど色々、幅広い福祉の問題一つ一つ学びながら少しでもお役にたつことがあればと思う日々です。思い出として写真を送ります。



昭和二十九年度 第一期生。卒業式後、仲良し五人組かな？中尾さんとはよくお会いしています。

源五郎丸さんとは昨年横浜にいらした時久しぶりにお会い出来ました。原田さん浦田さんとは久しく会ってません。

昭和二十九年卒業後、百道の海岸で、初めて受け持った、松風園、希望の部屋の子供たちとの写真を同封します。



<私の今の仕事>

社保短19期生 花井 良江

社保短を卒業してから、早10数年。平成12年4月より、柳川リハビリテーション病院、眼科(視覚リハビリテーション)に勤務しています。

柳川リハビリテーション病院は、開業して10年を迎え、平成12年1月に新しく眼科を開設しました。一般の眼科診療はもちろんのこと、視覚障害者の保有視機能を最大限に活用してQOLの向上を目指す「ロービジョンケア」を専門に行っています。高橋

広部長(元産業医大助教授)のもと、私も視能訓練士として、毎日充実した日々を過ごしています。

私は社保短を卒業後3年間、精神薄弱者更生施設に指導員として勤務していました。しかし足の怪我をきっかけに退職、1年近い療養生活を経て進学し、視能訓練士という国家資格を取得しました。卒業後は、大阪の近畿大学付属病院、帰福してからは、福岡市内の総合病院に勤務していましたが、「本来私のやりたかったことができるに違いない」という思いで、柳川に移ることにしました。

立ち上げからですので、なかなか大変な面も多く、あっという間の1年でしたが、やりがいがあります。現在視能訓練士は、視機能の評価と光学補助具の処方、訓練を中心に行っています。補助具を処方することにおいては、患者さんの心理的な関与が大きく、処方したものなかなか使ってもらえなかったり、と難しさを感じています。毎日が試行錯誤の連続です。

その他に高次機能障害の方達や障害をもった子どもさん達も受診され、検査や訓練を行っています。同じ敷地内にある老人保健施設の健診も行っています。この健診については、7月と11月の学会で発表する予定です。

最近強く感じていることは、専門的な技術や知識はもちろん必要ですが、「心のケア」が何より大切だということです。患者さんの訴えに耳を傾け、共感することから始まると思います。その考え方のベースにあるのは、社保短で学んだ2年間であることはいうまでもありません。

さまざまな貴重な体験、ご指導下さった先生方、会えば学生時代にワープする先輩や友人達……。感謝の気持ちでいっぱいです。柳川にお越しの際は、ぜひお立ち寄り下さい。

勤務先：柳川リハビリテーション病院 眼科
〒832-0058 福岡県柳川市上宮町113-2
TEL 0944-72-0001 FAX 0944-72-1127
<http://www.kouhoukai.org/lowvision/>
email:lowvision@kouhoukai.org



<タイムスリップ>

養成所10期生 高田 稔子

原稿の依頼を受け自分をふり返るチャンスとなり、走馬灯のように脳裏をかすめタイムスリップする一時がもてました。

あの道、あの校舎、あのピアノ、限りない愛情と懐かしさがよみ返り、所長先生をはじめ各講師の先生方に厚く感謝しつつ先輩、後輩、友人との青春の



一日一日が一遍に泡のように溢れてまいります。専門的知識を学び、四苦八苦したピアノレッスン、保育実習での共感、感動、夢のある世界は広がり、伸び伸び過ごした二年間、文化祭、グループワーク実習など鮮明に浮かんでまいります。しかし長年の間には人知れず無力を嘆いたりした挫折も幾多あり、子育てのパートナーとして笑いあり涙あり、種々雑多の百面相をどれだけしたことか、でも同僚、保護者、主役の子ども達に支えられたことを実感する日々です。今、社会状況の急激な変化に目がまわる保育界、残り少ない月日、子ども達との出会いに初心を忘れず全うしていきたいと思うこの頃です。

<現在の職場・田主丸一麦寮>

県大1期生 森永麻祐子

皆様初めまして。

私は田主丸一麦寮で指導員をしている森永と申します。当施設は、ぶどうや柿などの果物で有名な田主丸町にあり、後には緑の美しい耳納連山がそびえています。つまり、とても自然の豊かなところというわけです。



一麦寮は、定員90名で、職員は平成13年度採用者を含めると50名近くになります(指導員、調理、事務などをすべて含めて)。また、社保短時代、県立大の先輩達が沢山いるところでもあります。(現在5名)

私も皆さんの先輩として又、私の先輩達の後輩として、日々仕事に取り組んでいます。指導員の仕事はとても幅が広く、奥の深いものだと感じています。まだまだ努力が足りず、先輩達には迷惑をかけてばかりですが、早く先輩達に追いつけるように頑張っていきたいと思えます。

一麦寮で福祉実習を考えている学生の方、お待ちしております。

<県立保母養成所への思い>

養成所15期生 江藤幸子



発展的閉校として卒業し30有余年、最後の卒業生である私達15期生。突然の原稿依頼に戸惑っていますが、養成所への思いを綴ってみます。

静寂な森林の中、白砂を踏みしめながら一様の目的を持って通ったあの学舎。2年間の充実した学生生活の中、後輩のいない寂しいときも、威勢のいい博多

弁に励まされ有終の美を飾ろうという思いに丸一となっていました。

保育実習や郊外サークルにおいて、多くの先輩たちと出会いましたが、皆、にこやかに第1線で活躍されていて、保育技術のみならず、人生指針も示してくださいました。

昨年、15期生の近況報告のお便りをいただき、懐かしさ以上に感動いたしました。最後の卒業生も福祉関係は勿論のこと、開拓した新分野で、さらに地域や家庭で養成所魂を発揮しているのです。企業内託児所勤務の私は、大いに発破をかけられた思いです。人生の後半を歩いている今、養成所での経験や仲間の存在が、苦しいときの踏ん張りになり、生きていく知恵になっているようで、私の心の財産の一つです。素晴らしい後輩達とのご縁を感謝するとともに、益々活躍されますよう、又、同窓会のさらなる発展を祈念申し上げます。

<坂口りつ子先生御退職祝い>

社保短15期保育科 秋元裕子

短大を卒業して、18年目。未だに先生とは賀状のやりとりをさせていただいています。膨大な数のハガキの中にある、私のような者の1枚にも心を込めた言葉をいつも添えてくださるので、いつも出さずにはられないのです。

そんな先生の昨年の賀状に、「私、4月から自由です。うれしいことです。」とあり、西南学院大学を退職されることを知りました。

「お祝いしなくてはいけません!!」もうその時から心は騒ぎましたが、「4月から自由」のはずが、私の予想通り何かとお忙しい毎日で、何とか9月2日(日)に都合をつけていただくことができました。

当日は、宮崎の九州保健福祉大学に赴任されている糸先生も駆けつけてくださり、15期保育科5名と同窓会事務局の平野先生も加わり、「梅の花」(百道店)で楽しい会食をさせていただきました。

本当に退職の年齢になっているなどとは信じられないくらい、お元気でお若い先生に、一同ただただ感心するばかりでした。

社保短赴任時のエピソードや、当時の近藤学長の茶目っ気ぶりなど聞かせていただき、また、現在も田川の家裁判所の調停委員をされている関係で、田川の話もされ地



元田川に住んでいる私としては、うれしくもあり、恥ずかしくもあつたり……、あつという間の2時間半でした。いつまでもお若く、はつらつとした先生から「元気」をいただいて、それぞれの帰路に向かいました。お忙しい先生ですが、いつかまたこうやってお会いできる日を、楽しみにしています!